

# 平成 29 年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 29 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 29 年 11 月 29 日(水)～30 日(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 50 名、委託関係者 50 名ほか、計 117 名の参集を得て、除草剤 36 薬剤 (189 点)、

生育調節剤 1 薬剤 (7 点)、展着剤 4 薬剤 (18 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成 29 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

### A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	
1. AC-263 液 イマザモックスアンモニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	実・継 (従来どおり)	一年生広葉雑草	茎葉兼土壌(全面)	大豆出芽直前～摘、雑草発生始～本葉展開期	200～300mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	北海道	・効果薬害の確認 (東北以南:大豆出芽始～出芽摘期, 初生葉展開期～1葉期, 2葉期～3葉期処理)
			茎葉兼土壌(畦間)	大豆生育期, 広葉雑草2葉期まで	・作物に飛散しないように散布する ・体系処理; イネ科雑草対象の土壌処理剤を使用する				
2. AH-01 液 グルホシネートPナトリウム塩:11.5% [Meiji Seika ファルマ 北興化学工業]	さとうきび(耕起または植付前)	継							・効果薬害の確認
	さとうきび(畦間)	継							・効果薬害の確認
2. AH-01 液 グルホシネートPナトリウム塩:11.5% [名寄市薬用作物研究会]	かのこそう	実	一年生雑草	茎葉処理(畦間)	かのこそう生育期, 雑草生育期	500mL <水量100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しないように注意する ・雑草の草丈20cm以下で散布する
3. AL-513乳 アラクロール:30% リニュロン:12% [日産化学工業]	大豆	実・継	一年生雑草	土壌処理(全面)	播種後出芽前, 雑草発生前	400～800mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域	・アサガオに対する除草効果の確認 ・一年生雑草に対する薬量600～800mL/10aでの効果, 薬害の年次変動の確認
			ツユクサ			600～800mL <水量100L>			
4. AL-513(改)細粒 アラクロール:4% リニュロン:1.04% [日産化学工業]	大豆	実・継	一年生雑草	土壌処理(全面)	播種後出芽前, 雑草発生前	4～8kg	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・中耕培土後, 雑草発生前処理での効果・薬害の確認 ・ツユクサに対する除草効果の確認 ・薬量6～8kg/10aでの効果, 薬害の年次変動の確認
	ばれいしょ	実	一年生雑草	土壌処理(全面)	植付後萌芽前, 雑草発生前	4～6kg	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	
5. BAH-1701 液 既知化合物A:480g/L 既知化合物C:22.4g/L [BASFジャパン]	大豆	-							<作用性>
6. BAS-656 乳 ジメテナミドP:64.0% [BASFジャパン]	ばれいしょ	継							・効果薬害の確認
	てんさい(移植)	実・継 (従来どおり)	一年生イネ科雑草	土壌処理(全面)	定植後, 雑草発生前	75～120mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域	・一年生イネ科雑草に対する散布水量70L/10aでの効果, 薬害の確認 ・一年生広葉雑草に対する効果の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
7. BJL-861微粒 ダゾメット:96.5% [アグロカネショウ]	こんにゃく	継								・効果、葉害の確認
8. CG-119 α乳 S-メトラクロール:83.7% [シンジエンタジャパン]	てんさい (移植)	実(従 来ど おり)	一年生イ ネ科雑草	土壌処 理(全 面)	移植後、雑 草発生前	70~100mL <水量100L>	全土壌	北海道		
	てんさい (直播)	実(従 来ど おり)	一年生イ ネ科雑草 (スズメノ カタビラ を含む)	土壌処 理(全 面)	てんさい出 芽揃期、 イネ科雑草 発生前	70~100mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	北海道		
	てんさい	-								<作用性>
9. CG-123 αフロアブル アトラジン 27.8% S-メトラクロール 26.4% [シンジエンタジャパン]	とうもろ こし(飼料 用および 食用)	実 (従来 どおり)	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	播種後、雑 草発生前	140~200mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	北海道	・イネ科雑草の多発圃場 ではイネ科雑草の2葉期 までに使用する。	
						140~260mL <水量100~ 150L>		東北以南		
						140~200mL <水量100L>		北海道		
						140~260mL <水量100L>		東北以南		
10. DPX-16顆粒水和 チフェンスルフロメチ ル:75% [デュボン・プロダクシ ョン・アグリサイエンス]	とうもろ こし(飼料 用)	実・継 (従来 どおり)	一年生広 葉雑草、 ギンギン	茎葉処 理(全 面)	とうもろこ し 3~5葉期、 雑草生育期	2~4g <水量100L>	全土壌	全域	・葉の退色、萎凋、生育 抑制を生じることがある	・とうもろこし2~3 葉期処理での、一 年生広葉雑草に対 する効果の確認(東 北以南) ・少水量(25, 50L) 散布での効果、葉 害の確認(東北以 南) ・葉害の発生要因に ついて ・ギンギン類を対象 とした耕起前処理 での効果、葉害の 確認
			ギンギン			とうもろこ し2~3葉 期、 雑草生育期		2g <水量100L>		
11. HCW-201フロアブル DCMU:50% [*保土谷UPL, 北興化学工業]	大豆	実・継 (従来 どおり)	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	播種後出芽 前、雑草発 生前	150~200mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・タデ類には効果が劣る	・畦間・株間処理で の一年生イネ科雑 草に対する効果の 確認 (北海道) ・アサガオに対する 効果の確認 (畦間・株間)
						100~200mL <水量100L>		東北以南		
						100~200mL <水量100L>		全域		
茎葉兼 土壌 (畦間・ 株間)	大豆生育期 (本葉5葉期 以降)、 雑草生育期 (草丈15cm以 下)	ホオズキ 類	大豆兼 土壌処 理(全 面)	大豆生育期 (本葉5葉期 以降)、 雑草生育期 (草丈15cm以 下)	100~200mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・専用ノズルを使用する ・噴口はできるだけ低く し、本葉にかからないよ うに散布する ・葉齢の進んだイネ科雑 草には効果が劣る場合が ある ・イネ科雑草が2葉期より 生育している場合には、 展着剤を加用する(東北 以南) ・低薬量では、生育の進 んだタデ科雑草に効果が 劣る		
								・ムラサキカタバミには 効果が劣る場合がある		
さとうき び (春植え)	実・継 (従来 どおり)	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉兼 土壌処 理(全 面)	さとうきび 萌芽前、雑 草発生前	100~150mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・ムラサキカタバミには 効果が劣る場合がある	・植付後萌芽前、雑 草発生前における 薬量100~200mL<散 布水量200L>/10a処 理での効果、葉害 の確認	
										さとうきび 生育期、雑 草生育期(草 丈15cm以下)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
11. HCW-201フロアブル つづき	さとうきび (夏植え)	実・継 (従来どおり)	一年生雑草, 多年生広葉雑草	茎葉兼 土壌処理(全 面)	さとうきび 萌芽前, 雑 草発生始期	100~150mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・ムラサキカタバミには 効果が劣る場合がある	・多年生広葉雑草に 対する効果につい て年次変動の確認 (さとうきび生育 期) ・植付後萌芽前, 雑 草発生前における 薬量100~200mL<散 布水量200L>/10a処 理での効果, 薬害 の確認
					さとうきび 生育期, 雑 草生育期(草 丈15cm以下)					
	さとうきび (株出し)	実・継	一年生雑草, 多年生広葉雑草	土壌処理(全 面)	さとうきび 萌芽前, 雑 草発生前	160~200mL <水量100~ 200L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・ムラサキカタバミには 効果が劣る場合がある	・さとうきび萌芽 前, 雑草発生始期 での除草効果, 薬 害の確認 ・さとうきび萌芽 前, 雑草発生前 における薬量100~ 160mL<散布水量100 ~200L>/10a処理で の効果, 薬害の確 認
				茎葉兼 土壌処理(全 面)	さとうきび 生育期, 雑 草生育期(草 丈15cm以下)	100~150mL <水量100L>				
12. HPW-113顆粒水和 メトリブジン: 700g/L	ばれい しよ	-							<作用性>	
[保土谷UPL]	さとうきび(春植 え)	継								・効果, 薬害の確認
	さとうきび(株出 し)	継								・効果, 薬害の確認
13. HSW-062フロアブル インダノファン:10.0% ジフルフェニカン:4.0%	春播小麦	実・継	一年生雑草	茎葉兼 土壌処理(全 面)	小麦1~3葉 期, 雑草発 生始期	200mL <水量 70~100L>	全土壌 (砂土を 除く)	北海道	・一過性の白斑を生じる 場合がある	・効果, 薬害の確認 (播種後出芽前, 小 麦出芽直前~前期) ・小麦1~3葉期, 薬 量100mL/10aでの除 草効果の確認 ・小麦1~3葉期, 散 布水量100L/10aで の年次変動の確認
[ホクサン]										
14. KUH-043顆粒水和 ピロキサスルホン:50%	ばれい しよ	継								・効果, 薬害の検討
[クミアイ化学工業]										
15. KUH-165フロアブル ジフルフェニカン:7.4% ピロキサスルホン:7.4%	春播小麦	-								<作用性>
[クミアイ化学工業]										
16. MAH-1201顆粒水和 DCMU:80%	大豆	継								・効果, 薬害の検討
[アダマ・ジャパン]										
17. MBH-135 乳 フルチアセットメチ ル:2%	大豆	実・継	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	大豆2~4葉 期, 雑草生 育期(草丈 10cm以下)	30~50mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	東北以南	・シロザ, ヒユ科, ナス 科の優占圃場で使用する ・キク科, カヤツリグサ 科には効果劣る ・処理時に展開していた 葉に褐斑を生じ, 生育が 遅れる場合がある	・有効草種について の確認 ・大豆1~3葉期処理 での効果, 薬害の 確認(北海道) ・大豆5葉期~開 花前での薬量 50mL/10aの効果, 薬害の確認(東北以 南)
					大豆5葉期~ 開花前, 雑 草生育期(草 丈10cm以下)	30~40mL <水量100L>				
[丸和バイオケミカル]										

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
18. NG-622液 グリホサートカリウム 塩:48% [日産化学工業]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または 播種前 雑草 生育期(草丈 30cm以下)	200～500mL <水量 25～100L>	全土壌	全域	・散布水量5～6L, 25～ 50L/10aの場合は専用ノ ズルを使用する	・収穫前全面処理で の効果, 葉害の確認(北海道) ・耕起前, 水量5～ 6L/10a処理での効 果, 葉害の確認(北 海道)
						200～500mL <水量5～ 6L>		東北以南		
					播種後出芽 前 雑草生育 期(草丈30cm 以下)	200～500mL <水量 25～100L>				
						200～500mL <水量5～ 6L>				
			茎葉処 理(畦 間)	大豆生育期 雑草生育期	200～500mL <水量 25～100L>			・作物に飛散しないよう に散布する ・散布水量25～50L/10aの 場合は専用ノズルを使用 する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する		
			茎葉処 理(全 面)	大豆落葉期 ～成熟期, 雑草生育期	500～ 1000mL <水量 50～100L>			・成熟の遅れた株に散布 すると, 子実の変色やし わ粒等が発生する場合が ある ・水分含量の高い果実を つけた雑草では, 茎葉は 枯れても果実が残る場合 がある ・効果の完成までに2週間 以上を要する		
19. NH-009液 グルホシネート:18.5% [日本農薬]	大豆	継								・効果, 葉害の確認
20. NP-66フロアブル ピロキサスルホン:1.7% リニユロン:12% [日本曹達]	大豆	継								・効果, 葉害の確認
	とうもろ こし(飼料 用および 食用)	継								・効果, 葉害の確認
21. SCC-010液 グルホシネート:18.5% [日本アグロサービス]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または 定植前, 雑 草生育期(草 丈30cm以下)	300～500mL <水量 100～150L>	全土壌	東北以南	・移植栽培で使用する	・効果, 葉害の確認 (耕起または播種 前, 播種後出芽 前, 畦間, 畦間・株 間)
	ばれい しよ	継								・効果, 葉害の確認
	かんしよ	継								・効果, 葉害の確認
22. SL-574 フロアブル トルピラレート:3.1% ニコスルフロン:3.1% [石原産業 *石原バイオサイエンス]	とうもろ こし(飼料 用)	実(従 来ど おり)	一年生雑 草, 多年 生イネ科 雑草	茎葉処 理(全 面)	とうもろこ し3～5葉 期, 雑草生 育期(草丈 15cm以下)	100～200mL <水量100L>	全土壌	全域	・処理後白化, 黄化, 一 時的な生育抑制が生じる 場合がある。	
23. UPH-002 フロアブル フェンメディファム:16% [保土谷UPL]	てんさい (直播)	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	てんさい子 葉展開期～ 本葉抽出 期, 雑草発生揃 期	200～350mL <水量 50～100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用する ・低葉量では効果が劣る 場合がある(てんさい2葉 期以降, 雑草発生揃期)	
					てんさい2葉 期以降, 雑草発生揃 期	400～600mL <水量 50～100L>				

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域			
24. WOC-01液 グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41.0%  [三井化学アグロ]	大豆	実・継 (従来ど おり)	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または 播種7日以 前, 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	250~500mL <水量 25~100L>	全土壌	東北以南	・少量散布(25~50L)の 場合は専用ノズルを使用 する	・薬量と効果の確認 (播種後出芽前) ・落葉終期での効 果, 薬害の確認	
					播種後出芽 前, 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	250~500mL <水量100L>		東北以南			・大豆の発芽開始後は, 薬剤が直接触れると薬害 が発生することがあるの で注意する
				茎葉処 理(畦 間)	大豆生育 期, 雑草生育期	200~500mL <水量 25~100L>		東北以南			・作物に飛散しないよう に散布する ・少量散布(25~50L)の 場合は専用ノズルを使用 する ・雑草の草丈30cm以下で 使用する
25. ZK-122液 グリホサートカリウム 塩:44.7% [シンジェンタ ジャパ ン]	てんさい	-							<作用性>		
26. トリフルラリン 乳 トリフルラリン:44.5%  [*武田コンシューマーヘ ルスケア, 日産化学工 業]	甘草	実	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	定植後萌芽 前, 雑草発 生前	300mL <水量100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・ツクサ科, カヤツリ グサ科, キク科, アブラ ナ科, ナス科には効果劣 る		
					定植後萌芽 前, 雑草発 生前						
27. フェンメディファム 乳 フェンメディファ ム:14.7%  [*ツムラ, ホクサン]	とうき	実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	定植後, 雑 草発生揃	600mL <水量80L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域			
					とうき生育 期, 雑草発 生揃						
28. リニユロン水和 リニユロン:50%  [農研機構九州沖縄農研]	かんしょ (直播)	継							・効果, 薬害の確認		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
1. BAW-1601乳 ピラクロストロピン:19.2%  [BASFジャパン]	さとうきび	継								・効果, 薬害の確認
	さとうきび (春植え)	-								<作用性>
	さとうきび (夏植え)	-								<作用性>

C. 展着剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	試験された使用法						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.HOK-001 展着 ポリオキシエチレンドデシル エーテル:78.0%  [北興化学工業]	とうもろこし	-								
	とうもろこし	-								
	とうもろこし	-								
	とうもろこし	-								
	てんさい (移植)	-								
2.KF-640 展着 ポリオキシエチレンメチル ポリシロキサン:93%  [石原産業 *石原バイオサイエンス]	てんさい (移植)	-								
3.NK-0701 展着 ジオクチルスルホコハク酸 ナトリウム:22.5% ポリオキシエチレンアルキ ルエーテル(PRTR・1 種):22.5%  [日本化薬]	てんさい (移植)	-								
4.サーファクタントWK 展 着 ポリオキシエチレンドデシ ルエーテル:78.0%  [日本曹達]	ばれいしょ	-								
	てんさい (移植)	-								